■ 露出の決定
被写体の各部を測定して露出を決定します。
珍
文
1被写体最暗部
(ジャドー部)を
測定します。
T優先モード時
は測定したデー
ターを露出計に
メモリーしてお
くと便利です。
2被写体最明部
(ハイライト部)
を測定します。
3シヤドー部とハ
イライト部より
中間値を読み露出を決定します。
(例)カラーネガフィルムの場合
シャドー音Б F2 8 T‰
ハイライト部 F16 T%
FNO I
li42284568
|ィ ＼ ″
○
ISO100 (EV 9)
ISO100(EV:4)
のとき
|
11 :6 22 32 45 64 90
☆ フイルムには感光の範囲、つまり最も明
るい部分から最も暗い部分までの表現がで
きる範囲 (フイルムのラチチュード)があり
ます。従って被写体の明るさがフイルムの
ラチチュードを越えた場合には、その部分
はフイルムに再現されません。 ― 般的にモ
ノクロフイルムではその範囲が 128:|(7EV
差)、カラーの場合 32:(5EV差)とされて
います。
このような測定を行なう場合、ビューファ
インダーを使用すると各部を正確に測定で
き便利です。まず表現したい最明部を測定
して EV値を言売み、次に最暗音5を 7A」 定して EV
値の差を求めて表現ができる範囲内にある
かを確認し、その被写体の露出を決定しま
す。
(参考)露出値 (EV)目盛りの数値によるコン
トラスト比は、表のとおりです。
■ 取扱い上の注意
1接点⑥ は測定値補正の電気接点となりま
すので、接触を不安定にする変形、汚れ
に充分注意して下さい。
2接点は金属で出来ていますので、ケガに
は十分注意して下さい。
3受光部 5はプラスチックレンズですので
,青掃はプロワー等でホコリを吹き飛ばす
か、軟らかい布で軽く拭き取り常に清潔
にしておいて下さい。
■ 仕
測定方式 ● 反射光式
測定範囲 ● 定常光 EV2～ 22J"・ t
(lSO100)0ストロボ光 F4 -90J｀ 1・ t
受光角 ● 5°
ファインダー ● ガリレオ式 (倍率約 13倍)
大きさ、重さ 068× 36× 51mm 約 44g
※ この仕様書に記載の仕様及び外観は、改良の為、
子告なく変更することがあります ,
/ VIEWFINDER F L‐ 718VF使用説明書
株式会社
レ ・r7
く本社・営業部)
く大阪営業所〉
東京都練馬区大泉学日町724 4
〒 782Ю3(978)2330
大阪市中央区本町236本町ビジネスビル
〒541●
“
(263)571
く名古屋営業所〉 名古屋市中区栄58 4万国ビル
〒460●052(25)620
く東京サービスセンター〉 東京都新宿区市ヶ谷田町38新杵ビル
〒 62●03(269)7243
EV
6 7 8 9 :0 11 12:3 14 15 i6 17 i8 19
この 1宣 F5 6 ゴ:_ T1/m (EVll J｀ :_)
がこの被写体における適性露出値となりま
す。
(FNOで中間イ直を読み取る際はアナログ表示
部の FNO表示を利用すると便利です。)
SEκO‖′C
DIG:MASTER
お買いあげありがとうございま予使 ‖l市iにこの言iり l書を必ずおJ
みいただきこのL-718VFの性能を十分にごi舌用ください。
露出値 (EV)日盛の差コントラスト比有効露光 1■
白黒フイルム

■ 各部名称
L-718用ビューファィングーは測定物の反射
インダーで確認しながら測定できるアタッチ
露出計側
■ 取り付けな取り外し方
●取り付け方
(1)回転受光部① にセットしている光球 ② 等
を反時計方向に回して外します。
(2)ビューファインダーの回転ダイヤル③ の
着脱指標④ を反時計方向に回し、回転し
なくなる位置にセットします。
(着脱指標は真下)
(3)回転受光部にはめ込みます。
(4)回転ダイヤルを時計方向に回転しなくな
る位置 (45°)まで回しますと、ビューフ
アインダーはセットされます。
● 取り外し方
回転ダイヤルを反時計方向に 45・ 回転すれ
ば (着脱指標は真下)ピユーフアインダ
ーは外れます。
光 (輝度)を受光角 5° で測定ヶ所をファ
メントです。
ピューファイングー側
③回転
ダイヤル
Э着脱指標
☆ 露出計本体に装着
したままビューフ
アインダーを無理
に回転させないで
下さい。
■ 測定
:露出計本体に使用するフィルム感度 (ISO)、
測定するモード、及びタイム (又は絞り)
をセットします。
2ファインダー ⑦ を覗き、サークルを被写
体の測定したい部分に向け、露出計本体
側面の測光スイッチを押して測定します。
3コードレスモードの場合は測光スイッチ
をオ早し、待機 J大態にして、ストロポ光を
受光するまで、測定部分にサークルを合
わせておいて下さい。
こ注意
★定常光測定で測光スイッチを離し
たあとも極く短時間測光を続けて
いますので測光スイッチを離し
た後も約 07秒 P80はそのまま動かさ
ないで下さい。浸り定ヶ所の狙しヽを
外すと測定値に誤差を生しますの
ここ
'キ
意下さい。
★ このフアインダー |ま 2眼方式の為、
距離によリパララックスがありま
すので、次のように測定願います。
●『 F離か 15m以上の場合
Aを中心とする 5・ のサークル B
を用いて測定して下さい。
● 距離が lmぐらいの場合
0を測定物の中心に置き測定し
て下さい。
●]m以下はパララックスか大きく
なります。
● ピューファインダーが故障と思われるとき
ピューフアインダーの測定値がおかしい
と思われるとき、正常に作動しているか
どうかは、次の方法でご確認できます。
(:)露出計を定常光 EVモードにします。
(2)ノート等、光沢の無い約 20Cm四方の均 ― な明るさの測光面を用意し、露出計本体
にビューファィンダーを装着し、測光面
より約 10Cm離した位置で、陰を作らない
様に、均一面の中心部を測定します。
(3)測定モード及び、測光位置を動かさない
で、ビューファィンダーを光角度板に付
(す換え同様に測定します。
(4X2)と (3)の測定値の差が 0 5EV以内であれ
ば正常に作動しています。
一
¨④
∪著
“〕
¨
×
【